

政策体系	政策No.	4	政策名	育み磨きあうまちづくり		施策主管課	教育総務課
	施策No.	5	施策名	学習機会の充実	重点施策	施策主管課長名	久保 隆義
施策関係課名	総務課、商工振興課、霧島ジオパーク推進課、学校教育課、保健体育課、生涯学習課、文化振興課、図書館、メディアセンター						

1 基本計画期間(平成25年度～平成29年度)における施策の方針

- より多くの学習情報の収集・発信を行い、就労年代層の学習意欲を喚起するなど、市民全体の学び続けようとする意識の向上を図る。
- 学ぶことを「生きがい」「健康づくり」に繋げるとともに、学んだことを社会還元し地域の活性化につなげる体制づくりの推進を図る。
- 市民の学習ニーズを把握するとともに、身近な学習活動の場を確保しながら、市民の学習活動を推進する。

2 施策の目的と成果把握

① 対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		市民							
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
A	人口	人	見込み値	129,098.00	129,328.00	129,558.00	129,788.00	129,897.00	130,000.00
			実績値	127,475.00	127,283.00	128,861.00			
③ 意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		生涯にわたって自ら意欲をもって学習する							
④ 成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)							
		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
A	学習している市民の割合	%	成り行き値	45.0	45.0	45.5	46.0	46.5	47.0
			目標値	55.0	56.0	56.5	57.0	57.5	58.0
			実績値	57.7	57.5				
			達成率	105%	103%				
			結果	◎	○				
B	国分、隼人図書館、各公民館図書室及びメディアセンターの年間利用者数	人	成り行き値		310,000.0	310,000.0	310,000.0	310,000.0	310,000.0
			目標値		312,000.0	313,000.0	314,000.0	315,000.0	316,000.0
			実績値	293,169.0	288,226.0				
			達成率		92%				
			結果		△				
C	各種講座の応募者数	人	成り行き値		5,750.0	5,700.0	5,650.0	5,600.0	5,550.0
			目標値		5,750.0	5,800.0	5,850.0	5,900.0	5,950.0
			実績値	5,917.0	5,630.0				
			達成率		98%				
			結果		○				
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
⑤ 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)		⑥ 平成29年度の目標値設定の考え方							
A 学習している市民の割合 ※総合計画進行管理に係る市民意識調査		A 「学習している市民の割合」については、これまでの市民意識調査によると減少傾向にあることから、学習に参加しやすい環境づくりに努めることで、ピークであった平成20年度の実績値である58.0%を目標値とする。							
B 国分、隼人図書館、各公民館図書室及びメディアセンターの年間利用者数 ※各施設の利用者数実績		B 「国分、隼人図書館、各公民館図書室及びメディアセンターの年間利用者数」については、図書館等やメディアセンターの充実を図ることで、近年で最も多い平成21年度の実績値を基に316,000人を目標値とする。							
C 各種講座の応募者数 ※公民館定期講座、短期講座、メディアセンター講座の応募者数		C 「各種講座の応募者数」については、平成23年度において応募者が大幅に増加した新規講座もあり、今後も市民ニーズにあった魅力ある講座を開設することで、平成23年度実績値の5,766人から184人の増加を目指す。							
		D							

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)

- 市民が少しでも多くの学習機会に触れることができるように、「いつでも・どこでも・だれでも」学習できる環境を整備していく必要がある。
- 市民のニーズを十分把握し、それに対応した講座を検討する必要がある。
- これまでの市民意識調査において、「学習を全く行っていない」と答えた割合が高い就労年代層の学習意欲を向上させる必要がある。
- 指定管理者の実施する自主講座を含めた学習機会の情報提供を、積極的に行う必要がある。
- 多くの市民に対して、人権同和教育の学習機会を確保する必要がある。
- 国分、隼人図書館及び各公民館図書室が、情報の拠点としての役割を果たすため、市民が必要とする本や資料を身近な場所で、速やかに利用できるように工夫する必要がある。
- メディアセンターの各種機器を年次的に更新していく必要がある。

4 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)

<p>ア) 行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ニーズに合った学習の場の提供や講座等を開設するとともに、広報誌やホームページ等で学習情報を発信する。 ■誰でも気軽に学習できる環境の整備を行う。 ■学習の成果をボランティアとして還元できるような体制づくりに努める。 	<p>イ) 市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市民 <ul style="list-style-type: none"> ・何事にも興味、関心を持ち、前向きに学習しようとする意欲を持つ。 ・生きがいを持って余暇を有効に活用する。 ・広報誌や情報誌をよく見る。 ・同じ趣味を持つ仲間を作る。 ・学んだことを、ボランティア活動等の場で活かす。 ■事業所等 <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが学習に参加しやすいような雰囲気づくりが事業所に求められる。
--	--

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 公民館施設等、各地域の学習の場が、老朽化しつつある。
- 市民の学習内容に対するニーズが多様化している(今日的課題、必要課題など)。
- 図書館サービス等に対する、個人一人ひとりのニーズが多様化していく。

③ この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?

- 高齢者を中心に、学習の場所までの交通手段の確保を求める声がある。
- 公民館講座等の人気講座に対しては、希望者が多く学習できない人が出ており、開設増の声が多い。
- 公民館運営審議会の中で、団塊の世代を含めた男性の受講意欲を喚起できるような講座を開設してほしいという声があがっている。
- 様々な分野の蔵書・視聴覚資料の充実を望む声がある。

5 施策の現状

<p>① 平成25年度施策の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市民が学習しやすい学習環境を確保するため、公民館や図書館などの設備等を改修する。 ■市民の学習ニーズを把握しながら、講座の内容を充実する。 ■市民の学習機会を増やすため、様々な学習機会の情報提供を行う。 	<p>② 平成25年度施策の取組方針の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ■霧島公民館などの駐車場の舗装工事のほか施設や設備の修繕を行い、市民が学習しやすい環境を確保できた。 ■受講生の学習ニーズを把握するため、講座の終了時にアンケート調査を実施するとともに、ニーズに合った新規講座の開設を行った。 ■既存のパンプレットに写真などを掲載して内容を充実させるとともに、市ホームページやチラシにより、定期講座等の学習機会の情報提供を行った。 																																							
<p>③ 平成25年度施策の目標値と実績値の比較</p> <p>目標達成 ◎ 105%以上 目標をほぼ達成 ○ 95%~105%未満 目標を未達成 △ 95%未満</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">平成25年度成果指標</th> <th rowspan="2">結果</th> </tr> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> <th>達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>56.0</td> <td>57.5</td> <td>103.0%</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>312000.0</td> <td>288,226.0</td> <td>92.0%</td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>5750.0</td> <td>5,630.0</td> <td>98.0%</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>E</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>F</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	平成25年度成果指標				結果		目標値	実績値	達成率	A	56.0	57.5	103.0%	◎	B	312000.0	288,226.0	92.0%	△	C	5750.0	5,630.0	98.0%	◎	D					E					F					<p>④ 平成25年度施策の成果指標の達成状況及び要因</p> <p>A 学習している市民の割合は、前年度実績を0.2ポイント下回ったものの、目標値を1.5ポイント上回り目標を達成した。その要因としては、20歳代及び高齢層で減少したが、30歳から60歳未満の世代の増加があったことが一因と考えられる。</p> <p>B 国分、隼人図書館、各公民館図書室及びメディアセンターの年間利用者数は、活字離れなどにより減少していると考えられる。</p> <p>C 各種講座の応募者数は、前年度から約300人減少し、目標値からも100人以上下回った。その要因の主なもの、講座の内容の変更があったことなどにより、定員が100人以上減となったことが考えられる。</p>
平成25年度成果指標				結果																																				
	目標値	実績値	達成率																																					
A	56.0	57.5	103.0%	◎																																				
B	312000.0	288,226.0	92.0%	△																																				
C	5750.0	5,630.0	98.0%	◎																																				
D																																								
E																																								
F																																								
<p>⑤ 基本事業の目標達成度</p> <p>(平成25年度目標と実績との比較)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>○=すべての目標値を達成</th> <th>△=一部の目標値を達成</th> <th>×=すべての目標値を未達成</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 学習環境の整備</td> <td>◎</td> <td>⑤</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 学習活動の推進</td> <td>◎</td> <td>⑥</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③</td> <td></td> <td>⑦</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④</td> <td></td> <td>⑧</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		○=すべての目標値を達成	△=一部の目標値を達成	×=すべての目標値を未達成	① 学習環境の整備	◎	⑤		② 学習活動の推進	◎	⑥		③		⑦		④		⑧																					
	○=すべての目標値を達成	△=一部の目標値を達成	×=すべての目標値を未達成																																					
① 学習環境の整備	◎	⑤																																						
② 学習活動の推進	◎	⑥																																						
③		⑦																																						
④		⑧																																						

<p>6 平成26年度の施策の取組方針 (昨年度マネジメントシートより)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■市民が学習しやすい環境を確保するため、公民館や図書館などの設備等を改修する。 ■市民の学習ニーズを把握し、メディアセンターにおいて新規講座を開設するなど、内容の充実を図る。 ■市民の学習機会を増やすため、様々な学習機会の情報提供を行う。 	<p>7 平成27年度に向けた施策の課題・方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ■施設等の老朽化が見受けられるが、市民が学習できる環境を整えるため、引き続き公民館や図書館などの施設・設備の改修等を行う。 ■アンケート等により市民が求める学習講座を調査するとともに、メディアセンターにおいて新規講座を開設するなど、学習内容の充実を図る。 ■市民の学習機会を増やすため、市ホームページやチラシなどによって、様々な学習機会の情報提供を行う。
---	---

基本事業No.	4-5-1	基本事業名	学習環境の整備	基本事業 主担当課	生涯学習課・図書館・メディアセンター
---------	-------	-------	---------	--------------	--------------------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）

- 市が実施する講座のみならず、指定管理者や他の公的機関等が実施する講座等の情報も広く市民に提供していく。
- 市民一人ひとりの学習意欲を高めるため、市内のどの地区でも学べる学習環境づくりを推進する。
- 図書館システムを利用した蔵書検索や、他の公共図書館との相互貸借等の仕組みについて、広く市民に周知する。

②対象	市民	③意図	学習しやすい環境が整う
-----	----	-----	-------------

2 基本事業の指標等の推移

◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	住んでいる地域の学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	27.0	26.5	26.0	26.0	26.0	26.0
				目標値	27.7	27.9	28.1	28.3	28.5	28.7
				実績値	29.2	27.2				
				達成率	105%	97%				
				結果	◎	○				
B				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 過去3年間の実績値で最も高かった平成22年度の28.7%を目指す。

4 平成25年度基本事業の取組方針

- 市民の身近な学習拠点である公民館に、洋式トイレの設置を求める声があるので、市内全体の学習施設のトイレ改修計画を策定する。
- 図書利用について、居住地域による格差是正を図るため、移動図書館車の運行や相互貸借をフル活用して市民ニーズに対応する。

5 平成25年度基本事業の取組方針の達成状況

- 改修計画に基づき、一部の公民館ではトイレ洋式化の改修を行った。
- 移動図書館車による巡回場所の変更やリクエストへの対応として、相互貸借を活用し要望に応えた。

6 平成25年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

A 住んでいる地域で学習を行う環境が整っていると考えている市民の割合は、前年度を2.0ポイント、目標値を0.7ポイント下回った。その要因として、「身近なところに公開講座などを提供している施設がない」という回答があるように、学習施設が整わないことが一因と考えられる。

7 平成26年度基本事業の取組方針

- 学習施設の整備を進めながら、市内どの地区でも学べる学習環境づくりを実施するとともに、公民館や指定管理者等が実施する講座の情報を広く市民に提供していく。
- 図書利用の学習環境では、移動図書館車の運行や相互貸借をフル活用して市民ニーズに対応する。

8 平成27年度に向けた基本事業の課題・方向性

- 引き続き、学習施設の整備を進めながら、市内どの地区でも学べる学習環境づくりを実施するとともに、公民館や指定管理者等が実施する講座の情報を広く市民に提供していく。
- 図書利用の学習環境では、引き続き、移動図書館車の運行や相互貸借を活用して市民ニーズに対応する。

基本事業No.	4-5-2	基本事業名	学習活動の推進	基本事業 主担当課	生涯学習課・図書 館・メディアセンター
---------	-------	-------	---------	--------------	------------------------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）

- 市民の学習ニーズを把握しながら、各講座の学習内容の充実に努める。
- 就労年代層が受講しやすい時間帯や土日祝日を利用した講座の開設を行う。
- 人権同和教育の学習機会の拡充を図る。
- 学んだことを社会に還元して地域の活性化に繋げるため、生涯学習ボランティアバンクの充実に努める。

②対象 市民

③意図 自分のテーマに合った学習機会が得られる

2 基本事業の指標等の推移

◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度 (目標年度)
A	学習活動を行わない理由として自分のテーマに合った学習機会がないことをあげている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	16.0	17.0	18.0	19.0	20.0	21.0
				目標値	14.5	13.9	13.3	12.7	12.1	11.9
				実績値	16.3	14.3				
				達成率	88%	97%				
				結果	△	○				
B	学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないことをあげている市民の割合	%	市民意識調査	成り行き値	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5	23.5
				目標値	22.8	22.8	22.8	22.8	22.8	22.8
				実績値	21.8	17.0				
				達成率	104%	125%				
				結果	○	◎				
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

- A 過去3年間の実績値で最も低かった平成21年度の11.9%を目指す。
 B 過去3年間の実績値で最も低かった平成23年度の22.8%を維持することを目指す。

4 平成25年度基本事業の取組方針

短期講座では生活課題に密着した内容や、大隅国建国1300年にちなんだ内容を取り入れるなど、市民の学習ニーズに的確に対応する。

5 平成25年度基本事業の取組方針の達成状況

公民館短期講座において大隅国建国1300年にちなんだ講座や霧島自然探勝を実施したことにより、男性の応募が34人増加した。

6 平成25年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

- A 学習活動を行わない理由として自分のテーマに合った学習機会がないことをあげている市民の割合は、前年度から2.0ポイント改善したが、目標値に0.4ポイント達しなかった。前年度から改善した要因としては、男性の割合が5ポイント改善したことが一因として考えられる。
 B 学習活動を行わない理由として、時期や時間が合わないことをあげている市民の割合は、前年度から4.8ポイント、目標値を5.8ポイント改善し目標を達成した。要因としては、メディアセンターでは、試験的に夜間講座を行ったことや、男女問わず30歳から64歳の就労年代を中心に改善したことが一因として考えられる。

7 平成26年度基本事業の取組方針

短期講座では生活課題や時代の流れに対応した内容、ジオパークに関する内容を取り入れたり、メディアセンターでは、夜間講座を実施するなど、市民の学習ニーズに的確に対応する。

8 平成27年度に向けた基本事業の課題・方向性

- 講師や講座の開設場所を確保しながら、就労世代が受講しやすい機会づくりを図る。
- 短期講座において、生活課題や時代の流れに対応した内容を取り入れたり、スマホ・タブレット講座を継続して実施し、市民の学習ニーズに対応していく。